

私の気に入り 「からだハウス びわのもり」 **Moriyaナビ**  
『立っていることもつらかった坐骨神経痛がピタッと…』

5年前、腰痛の処置が悪く、右足の指先まで痛みとしびれがきてしまい、5分も連続して立っていられない状況になりました。

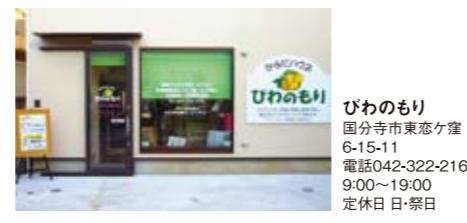
その際、以前からお話を聞いていた、びわのもりのビワキュー（ビワ温熱療法）を受けてみようと思い、わらにもする思いで伺いました。

整形外科や鍼などいろいろ行きましたが、まったく痛みがとれなかったものが、まず1回目の治療でしびれはまだあるものの、立っていることが苦痛ではなくなりました。3回目の治療のあとでは、今までの痛み、しびれは何だったのだろうと思う程、ほとんど通常の生活ができるようになりました。人それぞれ、合う合わないということもあると思いますが、私にはピッタリでした。何といっても、びわのもりのご主人、奥様、お母様の明るい笑顔が、最大の治療薬だったかも知れません。

（守屋辰彦）



痛みの治療はもちろんのこと、暖かい雰囲気の中でリラックスできる時間です



びわのもり  
国分寺市東恋ヶ窪  
6-15-11  
電話042-322-2161  
9:00~19:00  
定休日 日・祭日

ホームページはこちら ⇒ <http://biwao.com/>

掲示板

「地域チャリティー感謝デー」のお知らせ

5月29日(日)10:00~15:30

包丁研ぎ／まな板削り／焼きそば／端材処分市



いつも地域感謝デーにおいていただき、ありがとうございます。  
今回は、東日本大震災の一員も早い復興を地域の皆様と一緒に支援が出来ればとの思いから、「地域チャリティー感謝デー」とさせていただきます。会場に日本赤十字社への募金箱を設置させていただきますので、ご協力をお願い致します。



ひと紹介



竹内安夫さん（左官屋）

塗り壁の技術を守る  
仕事熱心な左官屋さん

日本家屋には欠かせない外壁や和室の漆喰  
壁などをコテを使って、塗り仕上げる左官の仕事に携わって50年近い年月になります。

壁などを均一で平らに仕上げるのは、手の感触など長年の経験が体にしみ込んだ技が活かされる繊細なもの。「なかなか満足のいく仕事はできないね。鍛錬が一生続くよ」と語る竹内さんの仕事中の顔つきはちょっと“こわい”くらいに真剣です。しかし、一旦休憩になると、とてもなごやかな笑顔で、周りの人を和ませます。

元気なパワーの源は、羨ましいほどに美味しいそうに食事をする旺盛な食欲だそうです。伝統の職人・左官の後継者にはお父さんの背を見て育った息子さんがいます。



－住まいの玉手箱－  
(No.36) 2011.5

発行:(株)守屋工務店 Moriya通信編集部  
〒184-0015 小金井市貫井北町5-21-2  
TEL 042-322-5438 FAX 042-325-1011  
E-mail moriya-koumuten@bd.wakwak.com

**Moriya** No.36 2011.5  
**通信**

—住まいの玉手箱—

明るく開放的な空間  
～当社ロビー～



床、壁、天井すべてに無垢材を使用していますので、年月と共に味わいが出てきます。山小屋風の大きな窓から四季折々の草花も楽しめます。お近くにおいで際は、ぜひお立ち寄りください。

柱と梁を繋ぐときの  
「込み栓（こみせん）」  
という手法です。



p4-5  
**地震に備えましょう!!**

- p2 住まいの玉手箱  
p3 道具の話「鑿のみ」

p6-7 みんなのコラム  
一心に残った映画・ドラマ  
ホーミー教室

- p8 守屋ナビ からだハウス びわのもり  
掲示板 もりや 人・紹介

**住まいの  
玉手箱**

**お手入れ**

**ネズミ対策**

天井裏や壁の中で物音がしたりしていませんか？  
最近、ネズミやハクビシンの被害が多く発しています。小さなネズミは50円玉の大きさ、ハクビシンはこぶし大の隙間があれば侵入し、天井裏に糞尿をするため、天井にシミが出来たり、状況によっては天井板が落ちてしまうこともあります。  
予防には、①建物に侵入する隙間がないか？②ゴミ置き場など、汚れている場所がないか？③室内に食べ物が放置されていないか？を調べてみましょう。環境改善することで近寄らなくなる場合もあります。それでも物音が治まらない場合は、ご相談ください。

**断熱塗料**

塗るだけで断熱ができる塗料をご存知でしょうか。当社で屋根と外壁の塗り替え時に施工したところ「今までエアコンも効かずに暑かった2階の居間が、窓を開けてエアコンなしでも過ごせた！」と喜びの感想を頂きました。今回使用したのは、宇宙航空開発機構（JAXA）がロケットの先端を守る為に開発した技術を使った特殊セラミック入りの塗料「ガイナ」です。通常の外壁塗装費の1.5倍ほどの費用がかかりますが、耐久性、防音効果、結露減少、汚れ防止などの機能があると言われています。他の塗料と違うところは、熱の吸収を防ぐために色の種類が限られているところです。

**防犯**

**硝子の種類**

今、硝子が多様化しており、たくさんの種類が販売されています。それぞれ用途も値段も異なります。期待した効果が得られなかったということにならないよう、工事を依頼するときには硝子の特徴をよく理解するようにしましょう。  
この表は目安です。詳しくはご相談ください。

	断熱	防音	防犯
スペーシア (真空硝子)	★★★★	★★	★
一般複層硝子	★★	★	×
Low-E 硝子 (複層硝子)	★★★	★	×
強化硝子	×	×	★★
合わせ硝子 (防犯硝子)	×	★	★★★
単板硝子	×	×	×

No.36-2

# 道具の話

**鑿 (のみ)**

住まいづくりに関連する「道具」についてご紹介します。

「道具は命」という言葉がありますが、職人は仕事によって様々な道具を使います。「道具の手入れも仕事のうち」などとも言い、昔からいろいろな道具が大切にされてきました。時代と共に消えていった道具や、姿、形が変わっていった道具もあります。

さあ、今回は「鑿」をご紹介します。

鑿と言っても、たくさんの種類があるが、今回は誰もが一度は目にした事のある道具『追入れ鑿』を紹介したい。大入れ鑿や造作鑿と言われ、全長は柄も含め7寸（210mm）程度。左手で柄を握り、玄翁で柄頭をたたき、材木を穿ち削る道具で、精巧な穴掘りや凹凸をつける細工には欠かせない、比較的小柄な造作用の鑿である。

鑿の刃幅は、一般的には1分（3mm）から1寸4分（42mm）までの10本1組とし、大事に桐箱に納める大工もいる。幅広の鑿は両脇が斜めに削れている面取型で、それ以外は昭和の初めの流行である角打型となっている。

鑿は、石器から青銅を経て鉄器に至った道具で歴史的には大変古くから存在していた。姿、形が時代と共に変化し、今日のような造作用の鑿は江戸時代の末に生み出されたようで、歴史的には比較的新しい。

東京にも、数多くの鑿鍛冶がいたが、今では1、2件となってしまった。東京の鑿が一番と定評であつただけに淋しい限りである。

▲ この鑿は東京国分寺の藤倉氏（鍛冶銘：助近）による作品である。現在は大工道具店、「かじ萬」として店を構え、数多くの大工道具を扱っている。興味のある方は是非とも足を運んで頂きたい。

No.36-3

## 特集

# 地震に備えましょう!!

## 我が家の安全を見直してみましょう！

守屋通信No.34では耐震補強工事について、実例をご紹介しました。  
今回は、屋内の家具や電化製品の耐震対策をご紹介します。

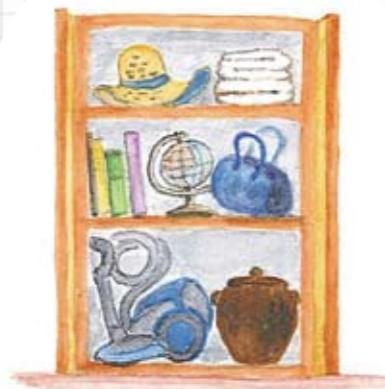


畳にはノッポな家具を置かない。  
家具の上にあがないものを置かない。

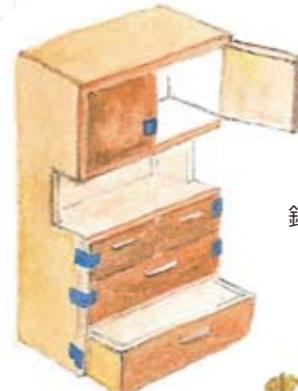
家具の手前にクサビ状の板をさし込み、わずかに後ろへもたれ気味に置く。



耐震金物は柱や間柱のある位置に長めのビスで取り付ける。  
家具の棟がしっかりしていないときは、あて板をする。



重いものは下に軽いものは上に収納する



扉・引き出しには開放防止金具を取付ける。



引出し用ベルトタイプ

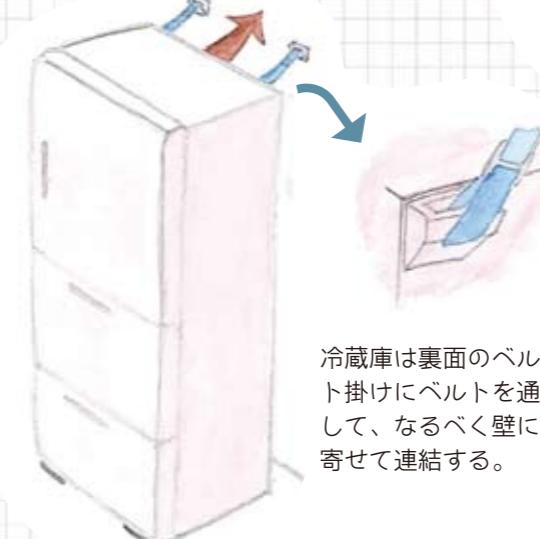
チェーンタイプ



飾り戸棚などの硝子に硝子飛散防止フィルムを貼る。



液晶テレビの台座の四隅に耐震マットを取付ける。  
背面にチェーンで壁と連結する。

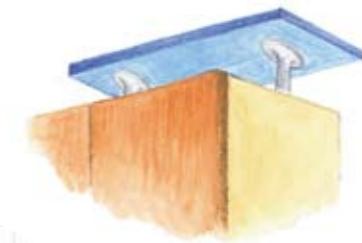


冷蔵庫は裏面のベルト掛けにベルトを通して、なるべく壁に寄せて連結する。



照明器具が下地材のあるところについているか確認しましょう。

つっぱり棒の固定は天井に強度がない場合、あて板を渡します。

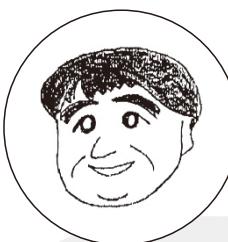


## 耐震金具の取付けの注意点

- 芯材のあるところに取付ける。
- 木ネジは長めを使用する。
- 木ネジのねじ込み不足や締め過ぎに注意
- ネジも長い間には緩んできます。定期的に点検しましょう。

## 家具の配置にも気をつけましょう。

- 万一、倒れた時に出入り口をふさがないように。
- 寝ているところ、火気のあるところに倒れないように。



### 「黒部の太陽」 (1968年公開 石原裕次郎主演)

長野県と富山県との境にある立山の下にトンネルを掘り、両県を繋ぐ大動脈として貫通する道路工事の話である。長い年月をかけてのトンネル工事、極めて難しい大工事に関わった現場監督の生き様を鋭く描いた感動のドラマ。長野県、富山県双方から掘り進めて寸分の狂いもなく最後にトンネルが貫通したその瞬間の感動は例えようもないものでした。工事中、ダイナマイトの爆発で突如大量の水が噴出し、作業員の尊い命が失われるというアクシデントに見舞われながらついに成功を収めた、トンネル工事として歴史に残る命を懸けた男の仕事であり、如何なる時も決して諦めない大切なことを教えてくれました。



輝く女性の感性  
[設計]  
井上佐智子

### 「北の国から」 (1982年～2002年 TVドラマ 脚本：倉本聰 演出：杉田成道)

子供たちと一緒に毎回観ていました（ビデオに撮って何回も……）。北海道を舞台に、自然の怖さと美しさ、人間の生きる知恵と力・文明の弱さ、人の心の暖かさ・せつなさ等いろいろなことを深く考えさせてくれる作品です。大自然の中の様々な場面が美しいテーマ曲と共に今も胸に甦ってきます。物が溢れ、便利なことが当たり前になっている今の生活を振り返らせてくれる作品もあります。今、DVDを少しづつ買いためでいて、将来は孫たちと一緒に観られたらと思っています。

### 「Dr.コトー診療所」 (2003年・2006年 TVドラマ)

地域医療の問題点や、患者と医師との心の関わり方を考えさせられるドラマでした。医師にとって、知識や技術はとても大事な要素だと思いますが、特に地域医療にとって大切なことは、相手の立場に立った心のケアであることを感じました。このドラマを見終わった後は、地域の方に対し私は何が出来るのだろうと考えます。とてもコトー先生のような高い知識や技術は持っていないが、少しでも地域の方に信頼される建築士を目指して日々努力していくと思います。

信頼度No.1  
[社長]  
守屋辰彦

オールマイティママ  
[経理]  
守屋祥子

### 「しあわせの隠れ場所」 (2009年公開 米映画)

孤児同様の少年に憐れみを感じた主人公が、やがて少年を家族の一員として迎え入れ、彼の運動能力を見出しあメフトのプロへの道へと導く実話をもとにしたストーリーです。隣人愛や人間愛について深く感じさせてくれます。もっと時間や気持ちに余裕を持ち、利己主義な幸福を求めるのではなく、我が子だけでなく、まわりにいる子どもたちの幸せの手助けも出来るような、一保護者でありたいと感じさせられる映画です。

### 「ララミー劇場」 (1959年 米ドラマ NETで放映)

今はもう定かではないが、東京オリンピックの前の年に、私が長野県の下諏訪町という田舎町から上京。当時田舎にはほとんどテレビはなく、東京には各家庭にテレビがあったのには驚いた。毎週やっていた、テレビ番組西部劇「ララミー劇場」が印象に残っている。主人公の俳優の名前も覚えていないが、スケールの大きさ、景色の雄大さ、何ともいえない新鮮さ、白黒テレビなのに、草木の緑の鮮明さだけは、脳裏に焼きついている。



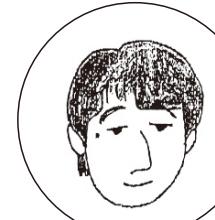
仕事の魔術師  
[営業主任]  
今井治彦

### 「小さな恋のメロディー」 (1971年公開 英映画)

どこまでも続く草原の中の線路を、主人公の2人が小さなトロッコをこいで、どんどん進んでいくラストシーン。まるで2匹のちょうちよが楽しそうに一緒に飛んでいるようでした。

映画「小さな恋のメロディー」は、10才頃の初恋を描いた、かわいらしい物語です。

色々なシーンを思い出すと「ビージーズ」の素敵な歌と共に、私の初恋の思い出と重なり、今でも心がほんわか暖まるような、切ないような気持ちになります。



設計の匠  
[設計課長]  
鈴木浩司

### 「ROCKY」 (米映画 1977年)

高校生の時、兄に薦められて観るきっかけとなった映画「ROCKY」。ロッキーがリングに立ち向かう姿や、恋人の為に人生のすべてを賭けた戦いに魅了され、今でも休日に鑑賞し、楽しんでいます。映画で流れる男くさいBGMも、自分にヤル気を沸き立ててくれる大好きな曲です。



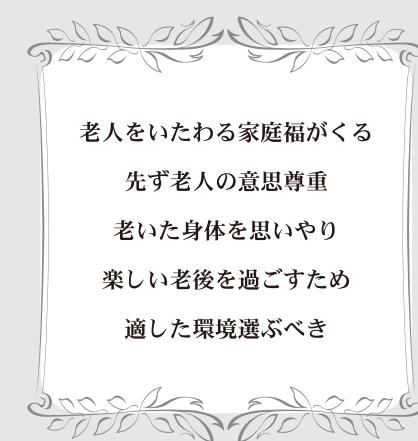
熱意とこだわりの仕事師  
[大工・設計監理]  
立花慶次

### ホーミー教室

#### 介護室

Nursing room

高齢者の方は、長い人生を通して社会に貢献し、今日の繁栄の基礎をつくられた方々です。どのお宅にとっても、家庭の功労者です。その勞に感謝し、報いることは当然のことです。



老人をいたわる家庭福がくる

先ず老人の意思尊重

老いた身体を思いやり

楽しい老後を過ごすため

適した環境選ぶべき

また、いつの日か、自らも高齢者になることは明らかで、高齢者を労わることは自分自身の幸福を求める事と同じです。

高齢者には自然の恵みが多過ぎても毒になります。強い日差し、肌に冷たく感じる風、どちらも刺激が多く、高齢者の健康には良くありません。屋外に出て適切な運動をしたり、日向ぼっこに時を過ごし、そしてむしろ、室内は温度の変化が少ない、静かな場所であることが望ましいのです。